

課題分析	授業改善推進プラン
<p>1 知識・技能</p> <p>合唱や鑑賞の活動を通して、曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解することができるが、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けることが課題である。</p> <p>2 思考・判断・表現</p> <p>歌唱活動において、音楽表現について思いや意図をもつことがおおむねできるが、それを言葉にしたり、実際に表現したりすることは苦手な生徒もいる。また、鑑賞では音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。</p> <p>3 主体的に学習に取り組む態度</p> <p>多くの生徒が課題解決に向けて主体的・協働的に活動に取り組んでいる。様々な音楽を聴いたり演奏したりして、さらに我が国の音楽や諸外国の音楽文化に親しみをもつことができるようにする。</p>	<p>1 知識・技能</p> <p>様々な活動を通して曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、そこから得られた知識と、<u>創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を関連付けて活用できるようにする。</u></p> <p>2 思考・判断・表現</p> <p>音楽表現について思いや意図をもつことができるように発問やワークシートなどを工夫して生徒の考えを促す。また、<u>グループ活動などを通して自分の考えと他者との考えを比較するなどして学びを深める。</u></p> <p>3 主体的に学習に取り組む態度</p> <p>様々な音楽文化に親しみをもつために、発達段階に応じて適切な教材を選択し、音楽を聴くことや演奏することを楽しみながら活動できるように工夫する。また、支援が必要な生徒には適切な声掛けや補助教材を使用して、主体的に取り組めるようにする。</p>